

## 大浪池～韓国岳～えびの高原登山

**趣 旨** 大浪池登山口から韓国岳山頂を経由してえびの高原に至るコースを踏破することで、自然の素晴らしさや美しさ、厳しさに直接ふれることで、自然と人間の関わりを大切にできる心情を培い、参加者同士の心のふれあいや絆を深めるとともに、自然に対する畏敬の念を育む機会とする。

### 日程例

09：00 霧島自然ふれあいセンター発  
 09：30 大浪池登山口着（トイレ） ※ 荒天時は、えびのエコミュージアムセンターや近隣施設の見学も可能です。  
 09：40 大浪池登山口発  
 10：25 大浪池展望所着  
 10：35 展望所発  
 11：25 大浪池，韓国岳鞍部～避難小屋着  
 12：25 韓国岳山頂着，昼食  
 12：55 山頂発  
 13：50 韓国岳登山口着  
 14：10 えびのエコミュージアムセンター見学  
 14：40 えびのエコミュージアムセンター発  
 15：10 霧島自然ふれあいセンター着

**連 絡** 荒天時の態度決定，登山開始時及び終了時，緊急事態発生時に連絡

**危険箇所**

- ・ 大浪池一周ルート上の火口壁，大浪池付近及び鞍部に張ってあるロープを絶対に超えない。
- ・ 4合目付近のガレ場（ロープをつたって登る）
- ・ 鞍部の避難小屋から東側に侵入しない。鞍部から韓国岳登山ルート上はコースを外れない。
- ・ 頂上から下山開始地点では，左に降りないように注意（大浪池ルートに行く恐れあり）

※ 2009年10月に当時小学5年生男児が遭難し，死亡した事案がある。（韓国岳8合目付近）

### 無線交信可能地点

大浪池山頂付近，韓国岳5合目以上

**留意事項**

- (1) 引率指導者の指示を守る。
- (2) 常に班で行動し，単独行動をしない。
- (3) 体力に応じたペースで歩行し，適宜休憩をとる。
- (4) 危険区域及び火口壁に近づかない。
- (5) 落石を起こさない。
- (6) 緊急事態が発生したら，直ちに近くの引率指導者に連絡する。
- (7) 自然を大切にする。
- (8) ゴミはすべて持ち帰る。

### 季節による見所等

#### <眺望，観察ポイント>

- ・ 大浪池展望所付近からの池と韓国岳の眺望，桜島方面の眺望を楽しむことができる。
  - ・ 頂上からの大浪池，獅子戸岳，新燃岳，高千穂峰，錦江湾に浮かぶ桜島，開聞岳，高隈山，紫尾山，宮崎県側の九州山地等の眺望を楽しむことができる。
- ⇔ その他，「韓国岳登山」，「大浪池登山」を参照。

**歴史等** 「韓国岳登山」，「大浪池登山」を参照。

# 大浪池～韓国岳登山～えびの高原



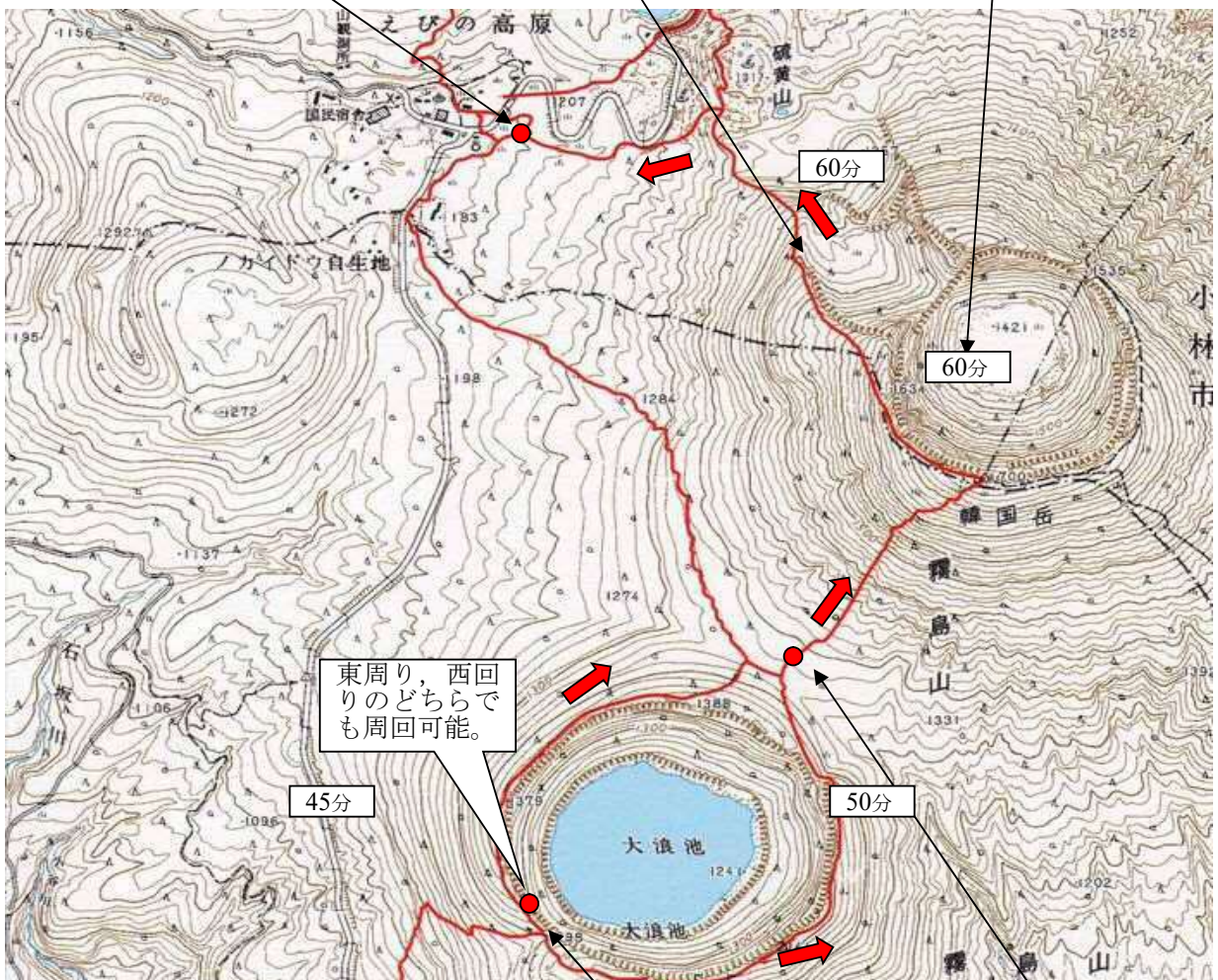
韓国岳登山入口



5合目付近



韓国岳山頂付近



大浪池登山口



展望所付近



避難小屋